国土交通大臣表彰

233人、2団体に栄誉

式典は延期

国土交通省は、2020年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰の受賞者を明らかにした。10日付で表彰する。例年、同日に開いている表彰式典は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から延期する。

10分野233人の受賞者では、岩田圭剛岩田地崎建設社長（北海道建設業協会会長）、若生保彦若生工業代表取締役（宮城県建設業協会副会長）、桑原勝良桑原組社長（滋賀県建設業協会会長）、小﨑学ミラノ工務店代表取締役（京都府建設業協会会長）、蔦田守弘鴻池組社長（大阪建設業協会会長）、山根敏樹こおげ建設社長（元鳥取県建設業協会会長）、井森浩視井森工業代表取締役会長（山口県建設業協会会長）、赤松泰則赤松土建代表取締役（徳島県建設業協会副会長）、久保陽生久保建設代表取締役（愛媛県建設業協会会長）、稲田義行ドーピー建設工業社長（プレストレスト・コンクリート建設業協会理事）、井上尚井上工業代表取締役会長（全国解体工事業団体連合会会長）、菅野昇孝元富士ピー・エス社長（元プレストレスト・コンクリート建設業協会会長）、高久晃元大日本コンサルタント社長（建設コンサルタンツ協会常任理事）、大越民衛元佐藤型枠工業社長（日本型枠工事業協会理事）、瀬古一郎中央開発代表取締役会長（元全国地質調査業協会連合会会長）、高野登日本工営代表取締役会長（建設コンサルタンツ協会会長）、米本順平村瀬業務店取締役会長（日本左官業組合連合会副会長）、小泉義明元小泉建業社長（日本型枠工事業協会副会長）、岩田正吾正栄工業代表取締役（全国鉄筋工事業協会会長）、松室利幸伊勢屋テック代表取締役（日本塗装工業会副会長）、沖野東陽高知建工舎代表取締役（日本建築板金協会副会長）、辻範明長谷エコーポレーション代表取締役会長（不動産協会理事）、金子眞紀子元金子機械代表取締役（日本建設機械レンタル協会理事）、飯尾清三エスアンドアイ総合建築事務所代表取締役（静岡県建築士会会長）、大村修大村建築設計事務所代表取締役（滋賀県建築士事務所協会会長）、上野浩也一級建築士事務所上野建築事務所代表取締役（京都府建築士事務所協会会長）、丸川眞太郎丸川建築設計事務所代表取締役（岡山県建築士事務所協会会長）、依光成元依光建築設計事務代表者（高知県建築士会会長）、岩本茂美傳設計代表取締役（福岡県建築士事務所協会会長）らが栄誉に輝いた。

優良団体は佐賀県建設工業協同組合、佐賀県空調衛生工業会の2団体が受賞した。

＝2、3面に各分野受賞者

今回提示した料

技能者登録	2段階登 簡略型 詳細型
事業者登録	2倍
現場利用料	3円→10
ID利用料	月額換算
開始時期	2段階登 2段階登

500円に据え置く。基本情報に加え、保有資格や研修受講歴などを登録する詳細型に見直した。

＊本人情報、社会保険等のみを登録する簡略型登録と、それ以外の全項目（保有資格、研修受講履歴等）を登録する詳細型登録とを選択できるようにする方式

新規登録の負担額増加を抑える半面、利用料の引き上げで財政の健全化を図る。カードタッチごとの現場利用料は現行の3円から10円に、ID利用料は月額換算で200円から800円に引き上げることで国民生活や経済の安定化などに寄与し、産業的使命を果たしている。

対象は会員企業（142社）が受注した全国の建設現場で、4月24日、5月15日、6月26日の3回に分けて調査を実施した。回答率は第1回が

ルス感染症に伴う会員企業の現場稼働状況をまとめた。同感染症がピークを迎えていた4月下旬には工事を中断した現場が1割を超えたものの、日を追うごとにその割合は低下、6月下旬にはほぼすべての現場が稼働した。建設業は

場数は各回とも1万3000―1万4000カ所に上り、民間工事も含まれる。

中断現場率をみると、第1回は緊急事態宣言下で長期連休の前倒しなどと重なり、12・4％だった。ただ、第2回には2・8％、第3回は0・